

周南市監査委員 久行 竜 二

周南市監査委員 岩田 淳 司

定期監査結果について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第199条第4項の規定による定期監査を実施し、同条第9項の規定により監査の結果に関する報告を次のとおり決定したので、公表します。

（当該監査の結果は、令和4年6月17日に議長及び市長に提出しています。）

1 監査の対象

企画部

企画課、秘書課、施設マネジメント課、スマートシティ推進課

2 監査の範囲

令和3年4月から令和4年1月までの収入、支出及び契約等財務に関する事務

3 監査の実施期間

令和4年4月26日（水）から令和4年6月17日（金）まで

4 監査の実施内容

監査に当たっては、周南市監査委員監査基準に従い、財務事務監査を中心に行政監査の視点も取り入れ、市の事務の執行が法令等に則り適正に執行されているか、合理的かつ効率的に執行されているかを主眼として実施し、全部又は一部を抽出により関係書類を検査照合するとともに、関係職員から説明を聴取した。

5 監査の着眼点

監査の実施に際し、過去の監査結果等を参考にリスク評価を行い、着眼点を設定した。その主な項目は次のとおりである。

(1) 収入事務

ア 調定額の算定は適正か。また、計算に誤りはないか。

イ 滞納状況及びその理由を明確に把握し、かつ記録しているか。

ウ 督促、催告及び時効の完成猶予又は更新の手続は適時、かつ適正に行われているか。

(2) 支出事務

ア 支出負担行為は法令等に違反しないか。

(3) 契約事務

- ア 契約書、見積書等関係書類及び帳簿は確実かつ的確に整備されているか。
また、これらの内容は適正か
- イ 監督及び検査(工事中に中間技術検査を実施する場合は、同検査を含む。)を担当する職員の任命は適正か。また、不正事故防止のため職員の配置について格別の配慮がなされているか。
- ウ 工事成績評定は、適切に行われているか。

(4) 財産管理事務

- ア 物品は正しく分類整理されているか。また、備品管理シールなどは正確に貼付されているか
- イ 物品の現在高は帳簿残高と一致しているか。また、帳簿外物品はないか。

6 監査の結果

上記事項のとおり監査した限りにおいて、監査の対象となった事務は、法令等に適合し、合理的かつ効率的な執行に努められており、次に述べる事項を除いて、おおむね適正に処理されていた。

なお、指摘事項の詳細にわたる部分や軽微な事項については、監査結果の講評の際に、文書で指導した。

施設マネジメント課

(1) 支出事務

- ア 業務委託契約について、年度開始前に予算執行行為である見積合わせが執行されているものがあつた。